

藤枝市教育委員会

平成29年8月定例会会議録（概要版）

- 開催日 平成29年8月25日
- 場所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室
- 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 出席委員
教育長 山本満博
教育長職務代理者 大社幸子 委員 瀧下悦代
委員 横山久男 委員 増田貴司
- 欠席委員
- 出席した事務局職員
教育部長 景山晶夫 教育政策課長 片山豊実
学校教育監 小林彰 主席指導主事 海老岡正乃
学校給食課長 中山文敏 生涯学習課長 原田富美雄
図書課長 安達剛正
総務係長 小澤峰樹 書記 興津景子

教育委員会 平成29年8月定例会

日 時 平成29年8月25日 午前10時00分
場 所 市役所西館5階 第2委員会室

1 開 会 午前10時00分

2 会議録署名委員氏名 大社幸子委員、瀧下悦代委員

3 日程第1

諸般の報告

教育政策課長	1 ペッパープログラミングアカデミープロジェクト スタートします！
学校教育監	1 平成30～31年度使用の小学校教科用図書(特別の教科 道徳)の採択について 1 平成28年度 藤枝市内児童生徒の問題行動等の状況について
主席指導主事	1 平成29年度 中体連全国大会・東海大会・県大会出場について 1 平成29年度「ふじえだ教師塾」後期入塾・開講式について 1 藤枝市における兼務による学校事務の連携(試行)について
生涯学習課長	1 平成30年 藤枝市成人式実施計画について 1 科学体感イベント「フジエダ ^{コスモ} ☆宇宙キッズラボ」について
学校給食課長	1 「アルファ化米」を取り入れた学校給食の実施について ～学校給食で防災意識を高めよう～
図書課長	1 そらいろ図書館について 1 その他

4 閉 会 午前11時40分

教育委員会 平成29年8月定例会

日程第1

教育長

これより日程第1 諸般の報告について、事務局よりお願い致します。

事務局

- 1 ペッパープログラミングアカデミープロジェクト スタートします！
 - 次世代を担う子どもたちの論理的思考力を養うことが目的
土曜日9時30分～正午（全5回）青島北小学校多目的室
小学校4年～中学校3年 30名程度
- 1 平成30～31年度使用の小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について
 - 道徳（光村図書）
- 1 「平成28年度藤枝市内児童生徒の問題行動等の状況」について 【P 5】
 - 問題行動は、小・中ともに増加傾向
不登校 小学校36人（出現率0.45%）中学校110人（出現率2.94%）
いじめの認知件数 小学校29件、中学校83件
- 1 平成28年度中体連全国大会・東海大会・県大会出場について 【P 14】
 - 全国大会出場は個人は2名（相撲・柔道）、団体はなし
東海大会以上に進んだ生徒は市長を表敬訪問し報告会を行う
- 1 平成29年度「ふじえだ教師塾」後期入塾・開講式について 【P 17】
 - 10月14日（土）13：30～
藤枝市教育研修センター（岡部支所分館内）
- 1 藤枝市における兼務による学校事務の連携（試行）について 【P 18】
 - 効率化・標準化・人材の育成を目的とする
- 1 平成30年 藤枝市成人式実施計画について 【P 22】
 - 新成人を地域の皆さんとともに祝福し、併せて社会人としての自覚及び地域に対する感謝の気持ちの醸成を図る。
平成30年1月7日（日）10時30分～午後0時
中学校区ごとによる分散方式（10地区）
- 1 科学体感イベント「フジエダ^{コスモ}☆宇宙キッズラボ」について 【P 23】
 - 未来を担う子どもたちの創意工夫の精神や好奇心を刺激し、理科や科学に興味を持つ子どものすそ野を広げる。
平成29年10月7日（土）・8日（日）
午前9時30分～午後3時30分 生涯学習センター
- 1 「アルファ化米」を取り入れた学校給食の実施について 【P 24】

～学校給食で防災意識を高めよう～

- 「アルファ化米」を給食で提供し防災意識を高めてもらう。

図書課長

1 そらいろ図書館について 【P25】

- 発達に課題があり、日頃図書館へ訪れる事の少ない子どもたちを休館日の図書館に招待し、自由に楽しく本と触れ合う機会を提供し、図書館利用者の裾野を広げる。

実施日 平成29年8月28日（月）及び9月4日（月）

対象者 ガゼルの森へ通園する年長・年中児 50名

時間 午前10時から1時間程度

会場 駅南図書館

教育長

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

委員

P P A Pの件ですが、このペッパーはどこのものでしょうか。

事務局

青島北小学校の多目的室にあるペッパーを使用します。

委員

問題行動が増加しているとのことですが、とても心配です。その中でも、特に小学校、特別支援学級の生徒が増加しているとのことですが、自分の想いを伝えられないので、粗暴行為が増加してしまうのではないかと思います。自己をコントロールできないことが、2次障害を起し、不登校につながるのではないのでしょうか。発達障害につながる対策として、早期治療していかねばならないのですが、治療を必要とする生徒が増加する一方で、通級が少ないので待機児童がいます。昔は、通級で学んだことを、在籍教室に戻って学びがどのように生かされているか見たいのですが、時間的余裕がありませんでした。現在は解消されましたか。

事務局

問題行動の結果、すべてが発達障害とは限りませんが、多いことはわかります。そういった子どもに対して支援するため、学校支援相談員を配置し、そのような子どもに対する支援を厚くする個別指導しています。通級も年々人数が増えており、今年度は、岡部小学校に1学級増やしましたが、今後も増やすことで県へ要望しています。通級で学んだこどもが、戻ってどうかですが、通級の担当が学校に出向き確認することは時間的に無理なので、通級の担任と、在籍学級の担任が連絡を取り合っています。

委員

学校支援相談員をたくさん配置しているのは、本当にありがたいことです。低学年の時にコントロールの仕方を学んでいくことが大事なので、年中、年少から早期発見・早期治療が良いと思われませんが、教育委員会の管轄ではないため、行政のつながりでやっていただきたいと思います。小学校と中学校はこれからつながっていくが、幼稚園と保育園と小学校の関係が厚くなることを期待しています。

教育長

市でも途切れの無い発達支援、児童課とも連携を取りながらやっています、今年から幼稚園と小学校と一緒に会合を持ち徹底していきたいと考えています。幼稚園から高等学校を卒業するまで発達を支援する政策をやってみて、そこがうまく行けば、少しずつ解決していくと思います。通級に入れない待機児童もいるのですね。

事務局

本年度、岡部小学校が1学級増えましたので、だいぶ解消しています。それで

	<p>も今、数が増えているので、望んでいるときに全部対応できているかというところは少し難しいと考えます。</p>
教育長	<p>以前は支援を要する子が3%くらいでしたが、9%台に上がっている状況で、努力はしているが全てをカバーできない状況ですが、一生懸命やっています。。その他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>児童の問題行動が、小・中学校で顕在してくるのではないのでしょうか。保育園児でさえ、朝食を食べてこない子がいて、園での食事が大事になっているようです。共働き家庭が増え、生活習慣の変化に対応するため、国や市は保育園を増やしています。栄養と安全面では大丈夫ですが、愛情の不足をどこで補うのか、児童課と連絡を取るべきだと思います。解決策はないと思いますが、研究していただきたいと思います。</p> <p>もう1点、交通安全について、登下校には、ボランティアの方々が見守ってくれていますが、子どもたちが横断歩道に近づくと、押しボタンを押してくれて、車が止まるのを確認してくれて、子どもたちが渡っています。子どもたちの中には、歩きながら本を読んでいる子どももいて、安全を確認していない状況もあります。その子どもたちが、交通安全ボランティアがいなくても、自分で安全を守れるか心配になります。教育を、先生だけに任せるのは無理なので、どうしたら子どもの力を育てていけるか、考えてもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほどご指摘のとおり、幼稚園と保育園と小学校の連携を深めるよう努めます。また、交通安全ボランティアの研修を毎年行っていますので、その席で見守りを中心にし、行動は子どもに仕向けるよう伝えたいと思います。</p>
委員	<p>先日、ラジオ体操が私の地区で4日間行われました。全員が出席しているわけではなく、地域も家庭でも、親がどう考えているのか、問題があると痛感しています。学校が楽しい子どもが平成21年度の93パーセントから、昨年度95パーセントになり、この3パーセントの増加はすごいことだと思います。ピアサポートの活動の表れであり、先生の努力、指導の研究の結果だと思います。学校で楽しく勉強できることは素晴らしいことだと思います。まず無理ではあると思いますが、学校が楽しいとの回答が100パーセント、いじめも0を目指したいと思います。とにかく、学校や地域がかなり努力しているのはわかりますが、果たして家庭はどうなのか心配になります。地域に子どもを指導する声が出てこないのも、もっと地域と学校、家庭がもっと連携をとっていかねばならないと思います。地域の方が学校に連絡することが減っているので、地域と学校が連携を密にして情報を共有することが大事だと感じます。前年度と比べると比べるとはあまり良くないので、長いスパンで見たいです。</p>
事務局	<p>『子どもが安心して学べる学校づくりに向けて』を平成22年度から始めて、その成果をはかるものがなかなかないのですが、この前、いじめ対策委員会で指摘をされました。問題行動を起こしていた中学3年生が卒業し減ったというのがありますが、その指針に基づいて不登校や問題行動が大きく下がっているということはないので、何か対策をとりたいと思っています。学校と地域、家庭の連携が必要であると思います。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>青島中学校区が2つに分かれて成人式をやっているが、どうにか一緒にやれな</p>

いでしょうか。人数も多くやれる場所も限られてしまいますが、できれば一緒にやって欲しいと思います。

事務局

分散方式に変える時に、各中学校単位で行うことになりました。青島地区につきましては、青島中学校と青島北中学校。青島東小学校の卒業生は、2つの中学校に分かれてしまうので、成人式でもお互い顔を合わせられません。実際出席した当事者からアンケート調査を行った中にも、そういった意見はなかったので、新成人がそう思っていたのか理解していませんでした。会場も限られてくるので、早い時期から準備が必要であり、中学校単位でやってきたものが青島地区だけ変わるといって大きな問題がありますので、青島地区の総意として考えていただきたいと思います。平成31年度に向けて、青島地区全体として声を挙げていただいて、本市全体の成人式をどうするかを含め時間を掛けて考えていきたいと思います。

教育長

ひとつでやるといういろいろな問題があり、分散方式にしました。その時に、中学校区でスタートしているので、本当に新成人がそう言っているのか、実態がわからないので、その辺をはっきりして欲しいと思います。その他にいかがでしょうか。

委員

2点ですが、学校事務の連携について。静西地域で既に始めている他の地区の成果と課題を教えてください。またアルファ化米をどのように提供するのですか。

事務局

本市が最後の試行になりましたが、平成27年度から市町で手を挙げたところから順次進められています。本市がなぜ一番最後になってしまったのかというと、他の市町の試行を見ながら判断していこうと慎重に進めてきたからです。今進めていることをベースにやっていくのが一番いいのではないかということです。実際連携の範囲をどのようにしていくのがいいのかが一番大きかったです。地域の実情に応じたやり方で推進していきます。次に、成果と課題ですが、成果としては責任の所在が明確になったこと、他の学校の事務的なものを取り扱う時に自覚が高まったことです。課題については、グループをどう組むかは人事の問題と関わるので、大きなユニットを組んで、また場所も広範囲に渡るので移動距離も含めていくとどういう組織にしていこうか、今後検討する余地があります。

アルファ化米ですが、危機管理課の管理する防災倉庫から持って行きまして、通常アルミパックで各学校へ温かい状態で配達します。通常の給食と同じ形態です。

教育長

その他にいかがでしょうか。

事務局

特に問題行動のところで出てきたお話について一言。現在学校が抱えている多忙化の問題、小中一貫教育の問題がどこに帰結するかというと、家庭と学校と地域がどのような役割を果たすべきか認識した上での連携が求められています。まさにこの問題が出てきた時に一番大きく感じたことは、家庭教育の質の低下、これは働き方改革と女性の活躍推進と表裏一体になっていて、なかなか家庭に目が向かない状況になっています。三者が上手く連携して、地域で子ども育てる、子どもを厳しく叱る人たちがいて欲しいという、ひと昔前のイメージを持ちながら連携を果たしていかなければならないと思います。

もう一点は、行政の縦割りの弊害で、行政が各々の範疇を超えて、子どもの一

人の人格が縦の方向に育っていくライフステージを縦の線を大事にしながら、行政の各々の所管が連携を取りながら子どもを中心にみていく体制をしっかりと構築していく必要があります。

その2点を強く感じました。家庭と学校と地域のあり方、そこへ行政がどうかかわっていくのか、行政組織そのものの横節の入れ方について強く感じましたので、貴重なご意見ありがとうございました。

教育長

ありがとうございました。

その他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の全日程を終了いたしましたので8月定例会を閉会いたします。

閉 会

午前11時40分